

くらしに役立つなんでも相談

健康の悩み、生活・家庭の心配ごとなど、なんでも気軽にご相談ください。



友の会コーナーへ



原水爆禁止世界大会・長崎へ
代表団を送るカンパ活動 7/28

多くの会員から寄附していただいた生活雑貨、すいとん、飲物、手づくりパンや茨城の産直野菜、田老町復興支援のTシャツなど、バザーの収益は10万円になりました。ご協力ありがとうございました。

スカイツリーまで自転車で
往復30キロ約4時間 7/23

昨年の皇居へのツーリングに続き、今年も山本副院長はじめ医師、看護師（子供をのせて）、榎本会長など6人が自転車で、1人が電車、1人が徒步（往路5時間）、平和Tシャツを着て、道行く人々に平和をアピールしました。

「その夜は忘れない」

8月25日（木）
14時半～
共立診療所4階

広島を舞台に原爆による惨劇を描いた社会派ドラマ

出演：若尾文子
田宮二郎
監督：吉村公三郎
1962年 96分

健康づくり 生きがいづくり 友だちづくり まちづくり

友の会だよい

中野共立健康友の会・広報委員会発行
〒164-0001 中野区中野5-45-4

Eメール：a_nozawa@kenyu-kai.or.jp
Tel:03-3386-9139

平和の取り組み多彩に

軍の命令で集団自殺があつたことを大江健三郎さんは『沖縄ノート』（1970年）で明瞭にした。それは沖縄では当り前の話、何故40年近く経つて元守備隊長に大江さんが訴えられたのか。この裁判で原告を支援してきたのは歴史の事実をねじまげる「新しい歴史教科書をつくる会」のメンバーや文科省の官僚、極めつけは安部晋三内閣。裁判の本人尋問で、原告の元守備隊長が『沖縄ノート』を読みました。この訴訟が、政治的な狙いによって起こされたことは明確。裁判が起きたことで教科書検定で集団自決への軍の関与の記述が削除され、沖縄県民の怒りをかう事に。

（注）『集団強制死裁判』とはノベル賞作家、大江健三郎さんの『沖縄ノート』などに対し、旧日本軍の守備隊長らが『集団自決を命じたように書かれ名譽を傷つけられた』として、大江さんと出版元の岩波書店を訴え、今年4月最高裁で、集団自決への軍の関与を認めた判決がだされ、大江さん側が勝訴。

現状と歴史の説明が詳細にあり、南房総は東京湾の重要な要塞の地として明治初期から大規模な建設が行われていた。戦争の事。

3日、米占領軍本体初上陸地点の石碑や1945年9月3日、米占領軍の重要性を認識した。房総の地下などを見学。房総の地下壕など戦跡は、平和を守るためにも非常に貴重な財産と感じました。

平和の願い託すつどい 7/29

中野区医師会の向井拓治医師を迎えて、ヒロシマのお話を聞きました。（左）友の会から原水爆禁止世界大会に参加する代表団に多勢の会員が折った千羽鶴とバザーの収益を渡しました。（右）



平和のつどい

知らない沖縄の歴史
知つてゐるようで

8/11
40人

今年の平和のつどいは岩波書店の元専務、今井康之さん（写真）から、「沖縄の『集団強制死裁判』を通して沖縄の歴史を考える」と題してお話を聞きました。



房総の戦跡を訪ねて

8/2 総勢42人 日帰りバスの旅

中野2丁目
福家 禮三さん
74歳



「平和を願う旅」らしく車中は自己紹介を兼ね戦

争体験談が多く話され多く話されました。

昼食前に着。早速、現地のNPOの方から南房総の基地の

は目的地に到着。早速、現地のNPOは目的に到着しました。

争体験談が多く話されました。

次に「噫 従軍慰安婦」の石碑や1945年9月3日、米占領軍の重要性を認識した。房総の地下壕など戦跡は、平和を守るためにも非常に貴重な財産と感じました。

現状と歴史の説明が詳細にあり、南房総は東京湾の重要な要塞の地として明治初期から大規模な建設が行われていた。戦争の事。

3日、米占領軍本体初上陸地点の石碑や1945年9月3日、米占領軍の重要性を認識した。房総の地下壕など戦跡は、平和を守るためにも非常に貴重な財産と感じました。

原水爆禁止国民大行進（北海道→東京）7/28

健友会から原水爆禁止世界大会に参加する職員含め10人が中野から新宿まで行進しました。中野、杉並の参加者は昨年の2倍でした。



航空隊、特攻戦隊・水上特攻艇等）をつくり、いつでも戦える態勢を整え、終戦を迎えたのでした。

最初に案内された赤山

地下壕（写真）は凝灰岩質砂岩などから出来た岩山の中に入り、大

きもツルハシの後が残つていました。壕内には野

戦病院・基地司令室・奉

安殿・発電所などと思わ

れる部屋もありました。

しかし地下壕建設にかか

わる資料が全く不明で、

当時の証言も少ないと

事でした。

